



その名は「天酔一杯」

まちの駅南薩ブロックPB焼酎の名称が決定

まちの駅南薩ブロックでは、地域の情報発信と交流を図るために、南薩限定のおみやげ物として焼酎づくりを行っています。この新焼酎の名称について広く募集したところ、全国各地から265点の応募があり、10月13日の最終選考会において、出水市の加藤節子さんの「天酔一杯」に決定しました。

なお、10月29日の新酒まつりにおいて、まちの駅会員等により新焼酎の仕込みが行われ、来年1月ごろの完成を予定しています。

第5回KKBふるさとCM大賞
JA県経済連賞を獲得！



毎年恒例となった、KKBふるさとCM大賞の審査会が10月27日、鹿児島市で行われ、枕崎のCMがJA県経済連賞を獲得し、CM50本が放送されることになりました。その様子は11月23日午前10時から同局で放送されます。

女性の視点からまちづくりに一言
～枕崎市商工会議所女性会「市長と語りたい会」

枕崎市商工会議所女性会（大茂逸子会長）が9月28日、瀬戸口市長を招き、「市長と語りたい会」を市民会館で開催しました。この会は男女共同参画推進事業の一環として5年ほど前から開かれており、この日は会員の半数にあたる21名が出席しました。

冒頭、市長から現在取り組んでいる行財政改革をはじめ市政全般にわたって報告がなされました。これに対し、会員からは、タイヨー跡地の活用策また駅通り商店街の活性化を図る観点から、「高齢者と子供たちのふれあいの場や若者たちの出会いの場をつくったら」といった意見など、女性ならではの視点から、まちづくりに対する要望が数多く出されました。



盛大な体育大会へ父親たちが一役
～投稿者：別府中学校PTA

投稿

今年の体育大会は、第60回という節目の大会となり、別府中学校PTAではそれを記念して9月23日に緑門（杉木と杉葉）を作りました。

PTAの父親と学校職員の12名で、木の切り出しから装飾まで1日かけて完成させました。

緑門は中学校の体育大会ではあまり見かけないということもあり、ご来場の方々に大変好評でした。体育大会も盛大に行われ、記念すべき大会に花を添えました。



中秋の名月に子どもたちの声が響く
～大堀公民館十五夜行事

大堀公民館で10月6日、素晴らしい名月の中、十五夜行事の綱引きが行われました。

最近あまり見られなくなった直径約50センチ長さ約30センチの大綱は、公民館総出で練られたものです。

綱引きは園田清美大堀公民館長による十五夜の唄を合図にスタート。大人から子どもまで総勢約200人が、二手に分かれてかっぴい引き合っていました。

綱引きが終わると、近くの広場にある土俵で相撲大会が行われ、ここでも子どもたちの大きな歓声が上がっていました。



安全運転を気合で呼びかけ

～剣道スポーツ少年団が交通安全街頭キャンペーン

毎年恒例の剣道スポーツ少年団による交通安全街頭キャンペーンが、地場センター前道路で行われました。キャンペーンに参加したのは、枕崎・立神・桜山剣道スポーツ少年団やその保護者ら約50人。

子どもたちは、道着姿で汗を流しながらも通行中の車やバイクを止めて、薩摩酒造とJA南さつまから提供されたジュースや子どもたちが作った交通安全標語のチラシを配り「安全運転をお願いします」と呼びかけていました。



近代的な農業経営を目指して

～家族経営協定調印式

家族経営協定調印式が10月18日、市民会館で行われ、真茅良一農業委員会会長など関係者の立会いのもと、茶、甘しょ、花木などを経営している7農家が協定書を交わしました。

家族経営協定とは、農業を営んでいる家族全員が、意欲と生きがいをもって農業に取り組んでいける状況をつくりだすため、農業経営のやり方や報酬、休日の取り方、経営移譲の計画などについて取り決めを行うことです。市内では平成8年から取り組んでおり、今回を含め30組の農家が協定を締結しています。



秋晴れの中、元気に白球を追いかけた！

～第4回王貞治杯学童軟式野球大会

第4回王貞治杯学童軟式野球大会が10月7・8・9日の3日間、枕崎市営球場などで行われ、県内各地から54チームが参加しました。開会式では、金山野球スポーツ少年団の沖園晃規キャプテン（写真）が元気に選手宣誓の大役を務め、熱戦の始まりを告げました。

大会には、市内から5スポーツ少年団が参加し、どのチームも奮闘。球児たちは素晴らしい秋晴れの中、元気に試合に臨んでいました。